



真田氏の居城である海津城の石垣を縁に、内側に松の葉をあしらっている。

松代高校 同窓会報

発行/長野県松代高等学校同窓会
責任者/細川隆男
〒381-1232 長野県長野市松代町西条4065
TEL 026-278-2044(代)
FAX 026-278-2070
http://matsudou.com/
編集・印刷 緑同窓会事務局
〒121-0831 東京都足立区舎人3-11-26EPS
TEL 03-5839-3456(代)
FAX 03-5839-3460



グラウンドから校舎方面



東門の芝桜



県宝開善寺経蔵のもみじ

松代高校創立120周年寄附金等のお願い

母校松代高等学校は、令和8年(2026)に創立120周年を迎えます。そのため、同窓会・P T A・学校の三者が協力して実行委員会を立ち上げ、現在、記念事業を計画中です(関連記事3ページ参照)。つきましては、多額の費用が必要となるため、別紙振込用紙で、寄附等のご協力をお願い申し上げます。

《振込用紙について》

別紙振込用紙で、寄附・年会費・同窓会員名簿代を一括してお振り込み頂きます。

お振り込み頂ける金額は、振込用紙通信欄の寄附・年会費・同窓会会員名簿賛助金・同窓会会員名簿代の各項目のに「」をご記入いただき、をつけた項目の合計金額をお振り込みください。

尚、同窓会会員名簿代をお振り込み頂いた方には、令和7年9月頃に名簿をお送りする予定です。

創立120周年の目指すところ



同窓会長
細川 隆男

同窓生の皆様、各地でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃から同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。6月の同窓会定時総会で再び会長の職を担うことになり責任の重大さを感じております。

さて、今回の会報第35号は、本校の創立120周年に向けての会員名簿の整備、記念事業等における同窓生のご協力をお願い、郵便料金の値上げも視野に経費削減のため早めの会報の発行で同窓生にお届けしました。



校長
向井 健太郎

同窓生の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、本校の教育活動につきましてご理解ご支援を頂いていますことに感謝申し上げます。

今年度、松代高校に着任いたしました向井健太郎と申します。もとより微力ではございますが、多くの先輩方が創り上げてきた松代高校の発展のために力を尽くしたいと考えています。よろしくお

本校は、令和8年(2026年)創立120年を迎えます。過去先輩達が10年毎の節目に記念事業を実施してまいりました。先輩達の事業を引き継ぎ、後世に歴史を残し、母校の更なる発展を願い、120周年事業の実施を総会にてご承認をいただきました。事業の実施内容等につきましましては、会報の中に記載させていただきますので、同窓生の皆様には格別なるご協力をお願い申し上げます。

公立高校の再編計画で本校の商業科は、更級農業高校・屋代南高校とで長野千曲総合技術新校(仮称)として、令和12年統合となる予定です。今年1月より各校の同窓会、地域の有識者等で構成された高校再編整備懇話会が開催されており、新校の進むべき方向性が検討されています。松代高校普通科として存続する母校の将来に向けて同窓会としても高

願い致します。再来年の令和8年に、本校は、創立120周年の節目の年を迎えます。120周年記念事業につきましては、同窓会の皆さまと検討を重ねております。記念事業の成功に向けて、同窓生の皆さまの暖かいご支援をお願い致します。

今年度は、本校でも様々な教育活動が制限なしで再開されています。松濤祭につきましても、コロナ前にただ戻すという発想ではなく、コロナ禍を経て経験してきたことを踏まえ、新たな松濤祭のあり方について、生徒・教職員で議論し開催しました。

部活動では、高体連の総体、高野連の選手権大会も終わり、3年生のほとんどは引退となりましたが、部員の少ない中

校、地域と一体となって考えて行きたいと思っております。また残念なことに同窓会東海支部も

会員の高齢化と中京圏への就職者がいなくなった状況から、支部事業を継続することが困難となり、止む無く事業の廃止となりました。

新型コロナウイルスの感染法上の位置づけも昨年緩和され、最大行事の松濤祭も7月に開催されコロナ以前の賑わいを見せていました。今後も母校に学ぶ生徒を同窓会としても引き続き暖かく見守り支援してまいります。

それぞれの地域でご活躍の同窓生の皆様、同窓会発展と母校の発展のため一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

でも最大の力を発揮しようという練習に励み、大会に臨んだ生徒の姿に、私も大きな力をもらいました。高文連の活動でも、堂々と成果を発表する姿を見ることができ、嬉しく思いました。

世の中は先の見えないVUCA(不安定、不確実、複雑、曖昧)の時代と言われています。そんな時代を生き抜く生徒には、松代高校卒業時に、「自分ならできる」という自己効力感をもって、社会に進学先に羽ばたいてほしいと願っています。そのため教育活動を進めて参ります。

結びに、本校同窓会のさらなるご発展と同窓生の皆さまの益々のご健勝をご祈念申し上げます。

松代高校120年概史

和暦	西暦	事項
明治39	1906	長野県松代町立乙種農業学校開校
41	1908	新たに商業科を設置、松代町立松代農商学校と改称
大正6	1917	新たに女子部を併置、松代実業学校と改称
9	1920	女子部は独立し、松代実科女学校と改称
14	1925	農科を廃し、甲種商業学校に昇格、松代商業学校と改称
昭和3	1928	校歌制定
16	1941	松代実科高等女学校を長野県松代高等女学校と改称
19	1944	長野県松代高等女学校を松代町外六カ村学校組合経営に変更
23	1948	長野県松代女子商業学校開校
40	1965	松代商業学校募集中止、学徒勤労動員実施
43	1968	長野県松代商業学校と長野県松代高等女学校を統合し、定時制を併設した長野県松代高等学校となる
44	1969	長野県松代女子商業学校廃止
45	1970	地震などのため、校舎全面改築期成同盟会を結成
46	1971	プレハブ校舎で授業
47	1972	現校舎竣工、真田公園の旧校舎から移転
48	1973	定時制閉校
49	1974	長野南高校との統合案がでる
50	1975	松代高校創立100周年。第88回全国高等学校野球選手権大会(夏季甲子園大会)出場
51	1976	9月、県議会、松代高校と長野南高校の統合案等否決
52	1977	長野県教委、第2期高校再編案で、30年(令和12)、松代高校は、普通科高校となり、商業科は、新設の長野千曲総合技術高校に統合予定と発表
53	1978	松代高校創立120周年

松代高校創立120周年記念事業 募金趣意書

謹啓 同窓会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、母校ならびに同窓会のため、格別なるご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、母校松代高校は、2年後の令和8年(2026)に学校創立120周年を迎えることとなりました。

母校は、日露戦争戦勝の翌明治39年(1906)5月10日、殖産興業の一翼をになうべく、松代町立乙種農業学校として開校致しました。

その後幾多の変遷を経、終戦後の昭和23年(1948)には学制改革により、それまでの商業学校と高等女学校が統合し、商業科と普通科からなる新制「長野県松代高等学校」となりました。

この間、母校の卒業生は、およそ2万3千名余りを数え、県内や国内はもとより国外でも活躍する人材を輩出してまいりました。まことに喜ばしいことと存じます。

さて、母校が120周年を迎えるにあたり、それを慶祝し、その良き伝統を引き継ぎ、将来のさらなる発展を期するため、同窓会・PTA・学校の3者からなる「創立120周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、別記記念事業を実施することといたしました。

この記念事業実現のためには、多額の資金を必要とし、同窓会員の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご協力をお願いしなければなりません。

何卒、この事業の趣旨にご賛同をいただき、募金のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和6年9月吉日

長野県松代高等学校創立120周年記念事業実行委員会

委員長(同窓会長) 細川隆男

副委員長(学校長) 向井健太郎

副委員長(PTA会長) 宮澤洋介

記念事業と予算の概要

1.総事業費	2,530万円
2.募金目標額	1,900万円
3.記念事業の内容	
(1)教育環境整備事業	1,200万円
(2)記念誌発行	200万円
(3)会員名簿発行	100万円
(4)記念式典・記念祝賀会	150万円
(5)記念講演会	100万円
(6)同窓会基金の拡充	150万円

4.募金期間
令和6年10月1日 ~ 令和8年10月31日

5.募資金額

- (1)卒業生を対象とするもの
1口 10,000円以上
1口の目標金額にこだわらず、各自のご都合に合わせてご協力をお願いします(分割での納入もお受けいたします)
- (2)篤志寄附金
企業・法人 1口 20,000円 以上
(寄附金は、税法上の控除の対象とはなっていません)

6.払込方法

同封の郵便払込票にてお振込みください

7.その他

- (1)この記念事業に対し10万円以上ご寄附いただきました方には、感謝状を差し上げると共に祝賀会へのご招待いたします。
- (2)5万円以上ご寄附いただきました方には祝賀会へご招待いたします。

※教育環境整備事業において実施する施設等は、長野県に採納されます。

松代高等学校創立120周年記念事業実行委員会 委員名簿

(令和6年7月30日現在)

役職	所属	氏名	役職	所属	氏名
顧問	同窓会顧問	和田 榮一	相談役	同窓会相談役	依田 千代子
〃	〃	青木 邦一	〃	〃	青木 博美
〃	前PTA会長	大平 芳春	〃	〃	中野 今朝友
相談役	同窓会相談役	小坂 君子	〃	〃	坂本 忠雄
〃	〃	花岡 久二	〃	〃	宮下 哲
〃	〃	大日方 克子	〃	〃	倉田 博憲
〃	〃	春原 幸子			

役職	所属	氏名	役職	所属	氏名
実行委員長	同窓会長	細川 隆男	委員	同窓会理事	荒川 慶明
副実行委員長	学校長	向井 健太郎	〃	〃	山崎 陽一
〃	PTA会長	宮澤 洋介	〃	〃	宮澤 徳治
〃	同窓会副会長	浅川 民枝	〃	〃	中澤 健治
〃	〃	高村 秋光	〃	〃	宮坂 文雄
〃	〃	松林 正順	〃	〃	倉島 一喜
〃	〃	牧野 恵美子	〃	〃	広瀬 清
〃	〃	飯島 靖	〃	〃	片桐 佳俊
募金委員長	〃	高村 秋光	〃	〃	片桐 佳俊
監事	同窓会監事	岸本 敏子	〃	〃	若林 義久
〃	〃	中澤 啓至	〃	〃	春原 秀光
〃	PTA監事	長澤 愛美	〃	〃	塚田 一敏
常任委員	教頭	阿部 栄智	〃	〃	奥野 亨
〃	同窓会常任理事	野田 義正	〃	〃	福島 修一
〃	〃	畑 岩夫	〃	〃	内田 美喜雄
〃	〃	西村 和夫	〃	〃	小山 忠房
〃	〃	宮島 信明	〃	〃	倉田 厚
〃	〃	小林 春元	〃	同窓会学年幹事	栗原 太陽
〃	〃	大日方 明	〃	〃	小林 俊太
〃	〃	北澤 光男	〃	〃	山岸 翔空
〃	〃	宮川 好正	〃	〃	鈴木 優斗
〃	〃	久保田 武	〃	〃	岸本 光太郎
〃	〃	伊藤 淑郎	〃	〃	井口 璃子
〃	〃	山岸 喜昭	〃	PTA副会長	北島 美和
委員	同窓会理事	飯島 裕一	〃	〃	池田 健智
〃	〃	西村 功			

役職	所属	氏名
事務局長	同窓会事務局長	小林 浩
事務局員	同窓会事務局員	中澤 涼子

令和6年度
定時総会開催される

令和6年度の同窓会総会が6月8日(土)に昨年と同じく、理事会を兼ねて、松代町の梅田屋で開催されました。同窓会物故者へ黙祷を捧げ、細川同窓会長 向井校長先生にご挨拶を頂き、議事にはいりました。

まず、東海支部より、会員の高齢化減少に伴い支部運営が難しくなり、支部廃止の申し出があり、理事会にて承認され、総会で東海支部廃止が報告されました。

次に、同窓会及び松高教育振興会の令和5年度事業報告、収支決算報告、監査報告又令和6年度事業計画、収支予算についてもそれぞれ承認されました。

創立120周年実行委員会設立の承認、役員改選についても承認され、新役員挨拶のあと、退任役員の表彰、続いて退任のご挨拶がありました。

以上で無事総会が終わり、懇親会場に移動(ここでしか会えない顔もあり、話は尽きないようでしたが、ビンゴに「喜一憂し、ほろ酔いで歌う応援歌や校歌にあつという間にお開きの時間、「また来年お会いしましょう。」と解散しました。



令和5年度 松代高等学校同窓会収支決算書
令和5年4月1日～令和6年3月31日

収入総額	4,820,013
支出総額	3,490,919
差引残高	1,329,094

I. 収入の部

項目	予算額	決算額	増・減	摘要
繰越金	1,368,187	1,368,187	0	前年度繰越金
同窓会費	1,600,000	1,271,798	△328,202	70件(個人手帳引 郵便39件・コンビニ40件)
入会金	1,060,000	1,060,000	0	106名×10,000円(令和5年度入学生)
同窓会費前納費	620,000	560,000	△60,000	令和5年度卒業生5,000円×112名(3年分)
寄附金	0	560,000	560,000	令和5年度卒業生120周年寄附金112名×5,000円
雑収入	500	28	△472	配当・利息
合計	4,648,687	4,820,013	171,326	

II. 支出の部

項目	予算額	決算額	増・減	摘要
総会費	120,000	114,201	△5,799	定時総会
会議費	100,000	72,018	△27,982	役員会等
本部活動費	550,000	475,549	△74,451	名簿管理費、HP管理費他
支部運営補助	165,000	140,000	△25,000	4支部活動運営費補助
会報発行費	900,000	791,023	△108,977	会報印刷費、宛名印字封入代、郵送料
慶弔費	100,000	60,410	△39,590	転退職職員御禮他
記念品代	80,000	76,357	△3,643	卒業証書入れ、退任役員記念品
通信費	130,000	139,124	9,124	電話使用料、ハガキ、切手等
旅費	60,000	7,320	△52,680	本部総会出席旅費
消耗品費	30,000	23,697	△6,303	プリンターインク他事務用消耗品
同級会補助費	50,000	10,000	△40,000	1団体補助
水道光熱費	20,000	12,699	△7,301	松清館年間水道光熱費
雑費	30,000	28,521	△1,479	資金庫費、書籍代等
別途積立金	500,000	1,060,000	560,000	別途積立金500千円・120周年積立金560千円
会報発行積立金	480,000	480,000	0	会報発行積立金
予備費	1,333,687	0	△1,333,687	
合計	4,648,687	3,490,919	△1,157,768	

別途積立金会計	前年度積立金 5,800,000円	5年度積立金 1,060,000円	計 6,860,000円
会報積立金会計	前年度積立金 0円	5年度積立金 480,000円	計 480,000円

出資証券 長野県信用組合出資1口 金額1,000円(平成2年10月1日出資)

令和5年度 松高教育振興会決算書
令和5年4月1日～令和6年3月31日

収入総額	4,198,011
支出総額	1,060,636
次年度繰越金	3,137,375

I. 収入の部

項目	予算額	決算額	増・減	摘要
前年度繰越金	4,197,896	4,197,896	0	
雑収入	2,000	115	△1,885	預金利息
合計	4,199,896	4,198,011	△1,885	

II. 支出の部

項目	予算額	決算額	増・減	摘要
育英事業	500,000	282,640	△217,360	奨学金給付(6名)
学力向上事業支援	100,000	100,000	0	学習支援(松清塾)
クラブ振興費	70,000	23,000	△47,000	北信越・全国大会出場
学術・文化振興費	250,000	225,880	△24,120	開校記念講演
産業教育振興費	100,000	92,696	△7,304	パソコン講習会
教育研究助成	50,000	0	△50,000	
会議費	50,000	43,000	△7,000	役員会補助
旅費交通費	50,000	21,720	△28,280	役員会旅費
事務費	280,000	271,700	△8,300	パソコン、プリンター購入1台
雑費	50,000	0	△50,000	
次年度繰越金	2,699,896	3,137,375	437,479	
合計	4,199,896	4,198,011	△1,885	

別途積立金(定期預金)	前年度繰越金 18,000,000円	定期預金利息 0円	次年度繰越金 18,000,000円
-------------	--------------------	-----------	--------------------

貸付金	松代高校カレー製作費 750,000円
-----	---------------------

令和6年4月16日

令和5年度松代高等学校同窓会の一般会計、特別会計、教育振興会会計の監査の結果、正確かつ適正に処理されていることをご報告いたします。

監事 飯島 裕一
監事 岸本 敏子

令和5年度 松代高等学校同窓会事業報告書

年月日	摘要
5/4/6	令和5年度入学式出席
14	第5回本部正副会長会議開催
18	令和5年度会計監査会開催
23	令和5年度関東支部総会出席
5/2	常任理事会開催
23	第2回本部正副会長会議開催
6/3	令和5年度定時総会開催
21	令和5年度第1回学校評議員会出席
7/8	第61回松清祭正副会長見学
14	第3回本部正副会長会議開催
25	令和5年度松代支部総会出席
8/27	令和5年度中南信支部総会出席
9/1	第1回編集委員会開催
14	高校職員と同窓会役員との懇談会開催
24	令和5年度東海支部総会出席
10/13	創立120周年事業準備会開催・第2回編集委員会開催
11/10	第3回編集委員会開催
12/8	第4回本部正副会長会議開催・創立120周年事業準備会開催
22	第4回編集委員会開催
6/1/10	同窓会報第34号発行
11	第1回長野千曲総合技術新校再編懇話会出席
12	創立120周年事業合同会議(高校・PTA・同窓会)開催
30	同窓会年度別幹事選任説明会開催
2/21	令和5年度第2回学校評議員会出席
22	第5回本部正副会長会議開催
29	同窓会入会式・努力奨励賞表彰式出席
3/1	令和5年度卒業式出席
22	転退職職員送別会出席、お餞別贈呈

松代高等学校同窓会役員名簿【任期 令和6年4月1日～令和7年3月31日】

役職名	氏名	卒業年	選出母体(ブロック)	役職名	氏名	卒業年	選出母体(ブロック)
顧問	和田 榮一	31年	元同窓会長	//	春原 幸子	40年	元副会長
//	青木 邦一	38年	前同窓会長	//	依田 千代子	40年	元副会長
//	向井健太郎		学 校 長	//	青木 博美	38年	前中南信支部長
//	阿部 栄智		教 頭	//	中野 今朝友	39年	前関東支部長
相談役	小坂 君子	32年	元副会長	//	坂本 忠雄	38年	前松代支部長
//	花岡 久二	32年	元副会長	//	宮下 哲	36年	前東海支部長
//	大日方 克子	38年	元副会長	//	倉田 博憲	43年	前副会長
会 長	細川 隆男	43年	本 部 役 員	理 事	中沢 健治	43年	東条川東ブロック
副 会 長	浅川 民枝	47年	//	//	宮坂 文雄	43年	東条川西ブロック
//	高村 秋光	46年	//	//	野田 義正	39年	西条ブロック
//	松林 正順	52年	//	//	倉島 一喜	42年	豊栄ブロック
//	牧野恵美子	47年	//	//	広瀬 清	44年	清野ブロック
//	飯島 靖	53年	//	//	片桐 佳俊	36年	寺尾ブロック
監 事	岸本 敏子	45年	//	//	若林 義久	29年	屋代栗佐ブロック
//	中澤 啓至	56年	//	//	春原 秀光	39年	五加ブロック
常 任 理 事	野田 義正	39年	松代支部	//	(宮島 信明)	40年	千曲・坂城ブロック
//	畑 岩夫	39年	松代支部	//	塚田 一敏	36年	稲荷山八幡ブロック
//	西村 和夫	43年	松代支部	//	神戸 久雄	38年	倉科・森・雨宮ブロック
//	宮島 信明	40年	千曲・坂城支部	//	奥野 亨	56年	篠ノ井東ブロック
//	荒井 進	35年	篠ノ井支部	//	(小林 春元)	36年	篠ノ井支部
//	小林 春元	36年	篠ノ井支部	//	福島 修一	46年	川中島東ブロック
//	大日方 明	43年	川中島支部	//	内田美喜雄	47年	川中島西ブロック
//	北澤 光男	43年	更北支部	//	小山 忠房	50年	川中島南北ブロック
//	宮川 好正	44年	長野支部	//	(北澤 光男)	43年	更北支部ブロック
//	久保田 武	49年	須高・山ノ内支部	//	倉田 厚	54年	青木島ブロック
//	伊藤 淑郎	43年	中南信支部	幹 事	栞原 太陽	R5年	令和5年度卒
//	山岸 喜昭	43年	関東支部	//	小林 俊太	//	//
理 事	飯島 裕一	50年	松代ブロック	//	山岸 翔空	//	//
//	西村 功	39年	松代東ブロック	//	鈴木 優斗	R6年	令和6年度卒
//	荒川 慶明	39年	松代西ブロック	//	岸本光太郎	//	//
//	山崎 陽一	43年	松代南ブロック	//	井口 璃子	//	//
//	宮澤 徳治	45年	松代北ブロック				

関東支部
令和6年度定時総会を開催！

関東支部長

山岸 喜昭(昭和43年卒)

第36回定時総会は4月21日(日)11時30分からニアルカディア市ヶ谷・私学会館において開催(本部役員2名、会員29名)。

議事。1号議案、令和5年度事業報告。2号議案、令和5年度決算報告。以上議案を提案、満場一致にて承認を頂きました。3号議案、令和6年度収支予算案。4号議案、高齢化による会員の減少。又、昭和48年9月湾岸戦争勃発による産油国からの輸入価格暴騰、各企業の経営悪化、銀行、百貨店等、高校卒受皿企業の「高卒採用ゼロ」方針。従って本校から昭和50卒以降東京への就職者は毎年5名前後。以上の事由から関東支部解散の方向性について、賛否を問いた結果、解散否認16名、解散賛成13名のため、令和6年度以降も関東支部継続に決定。役員会にて収支予算編成実施すること、満場一致にて承認をいただきました。



長野県松代高等学校同窓会関東支部総会

中南信支部

設立20周年を迎えた
中南信支部について

中南信支部支部長

伊藤 淑郎(昭和43年卒)

中南信支部は、設立20周年を迎えました。皆様方のご支援ご協力で、この間、中南信支部活動が続けられてきたことに感謝申し上げます。しかし、近年の支部活動への参加者の高齢化や減少は心配です。そんな中、6月20日に支部役員会を行い、今年度の支部総会の内容やこれからの支部活動についての話し合いを行いました。総会は、8月25日、深志神社の梅風閣にて来賓をお招きして開催します。学校関係者の方には、生徒さんの状況や松代高校の今後の在り方など、同窓会本部役員には、令和8年10月24日に予定されている創立120周年記念事業などについてお話しいただき、中南信支部として少しでもお役に立てればと考えています。また、出席者全員にスピーチを行っていただき、会員同士の交流の場が活発になることを願っています。また、今年度も大川さんのマレットゴルフ場での大会を企画しています。その後のお蕎麦屋さんでの会食も楽しみの一つです。とにかく、今、参加できる人たちが集まって楽しく活動することで、参加者を増やす知恵も出てくるのではないかと考えています。



支部総会を終えて

松代支部 坂本 忠雄

去る7月23日(火)、定鑑堂において、本会より和田元会長、青木前会長、細川会長、畑常任理事、学校より小林事務局長の来賓各氏の出席を頂き、総勢16名で令和6年度の支部役員総会を開催しました。活動報告及び会計報告の承認等の議事が進み、新支部長の選出を行いました。長年の間西条ブツク長で尽力頂いてきました野田さんを、全会一致で新支部長に承認し快諾を頂きました。不肖私は、2018年から3期6年間、コロナ禍の影響もありましたが長居をしてしまいました。この間会員及び役員の皆様を支えられ、大過なく退任することが出来、深く感謝を申し上げます。今後新支部長のもと、益々松代支部はじめ、同窓会が永続的に発展しますよう微力ながら協力して参る所存です。簡単ではありますが、お引退の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。



東海支部の廃止について

昭和33年頃、約130名ほどで発足した東海支部も、令和5年時点で会員71名となり、役員の高齢化もあいまつて、支部の継続が困難となりました。令和5年4月に、支部会員に支部存続のアンケートをとり、廃止の回答が半数以上になったことから、その旨、同年の総会で決議されました。支部廃止の決定は、同窓会規約第9条に、理事

会の決議によると規定されており、令和6年6月の理事会で、東海支部の廃止が決議され、総会にて報告されました。

(1963年)38年 テニス部 最後の同球会

昭和38年卒業 青木 博美

同級生は男子8名、女子8名の16名。卒業時、顧問は北沢高明・塚田康三・酒井郁子の各先生方。男子団体県大会3位 女子倉田・酒井組がインターハイ出場。男子高山・相原組が北信越出場。

「テニスコートの誓い」になぞらえ「40年後に会いたいね」だった。その40年後の2002年、全国に散らばっていた仲間と連絡をとりあい最初の同球会は松代ロイヤルホテルで14名出席、開催した。40年前の思い出を埋めるのに時間はかからず、真夜中迄楽しく語った。

その後隔年ごとに、軽井沢・上山田・松本・白馬・群馬等で開催。コロナ感染で2回中止。既に故人となった方や体調面で参加者は年度減少したが、本年6/13地元松代荘で7名参加し、10回目の最後を迎えた。当時厳しい練習に明け暮る日々で、淡い思いも行動に移せなかつた切ない心情を吐露したり、母校の学校跡碑や真田公園を散策、テニスコート西側の体育館前であったヒマラヤスギ一本が今も残っており、コートから見えないこの下で唯一おしゃべりした事。先輩からお説教をもらった事等、懐かしく名残惜しかったが、お互い元気で過ごそうと誓い散会した。

- 川柳 「ボール追う 真田屋敷は 顔パスで」「真田様 出ては来ぬかと 忍び足」「屋敷内 間取りを全て 熟知して」「スギノ木が 二人の会話 そつと聞き」「城跡に 集う八十路の 学生が」

進路状況

進路指導主事 小野 陽子



同窓会の皆様には日頃より母校の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

昨年度卒業生の進路状況は、大学15名(13.4%)、短大9名(8%)、専門学校54名(48.2%)、就職28名(25%)、公務員3名(2.7%)、その他3名(2.7%)でした。一昨年度より大学進学が増えましたが、「手に職をつける」や「やりたいことをやる」ために専門学校へ進学する者も増えましたが、目的をもつて進学することはいいことですが、入学後向いていないということでも退学してしまうということもあります。職業や自分の適性などもしっかり考えさせ、進学先を決められるように力を入れていきます。

就職に関しては、昨年度のハローワーク篠ノ井管内の求人倍率は4.35倍でした。製造業の求人数が最も多く454、次いで建設業が169となっています。特に、建設業の求人数の増加が目立ちました。今年度の求人票からは、物価高や働き方改革、人手不足などの影響もあり、給料面や休日数などの待遇面の見直しがされている企業が多くみられます。卒業時だけでなく、10年後、20年後にどんな人生を送っていたいか考えて選んで欲しいと思います。

社会情勢の変化が厳しい中、県内の大学・短大も変化を余儀なくされています。今

生徒会の近況

生徒会長 3年1組 安藤 楓



今年度の生徒会活動は、「今までとはちがう」を目指して、アップグレードされた生徒会を全校で創り上げる事を目標に日々活動しています。新型コロナウイルスによる制限が解除され、生徒会活動や学校行事も流行前の様に実施出来るようになりましたが、その時の様子を知らない私達にとって企画するのは苦労の連続でした。先日開催された松濤祭では沢山の方が来場して下さり、皆さん楽しんで見学されている様子が見られました。また地域の方のご協力の下、校内祭・後夜祭も大変盛り上がり、大成功だったと思います。これもひとえに先生方をはじめ、全校の皆さんや地域の皆さんのお陰だと思っております。ありがとうございました。引退まで生徒会一丸となって、アップグレードされた生徒会創りを全力で行います。地域の皆さんや先生方、全校の皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、活動して行こうと思えます。応援宜しくお願い致します。

令和6年度 クラブ活動大会成績

【野球】

<春季北信越大会長野県北信予選会>
1回戦 松代2-22長野俊英
<全国高等学校野球選手権長野大会>
1回戦 松代0-9松川
<秋季北信越大会長野県北信予選>
2回戦 松代0-10長野

【バスケットボール】

<北信総体>
男子 1回戦 松代73-100長野日大
女子 1回戦 松代・屋代南37-117長野日大

【サッカー】

<北信総体>
1回戦 松代0-9長野俊英
<全国高等学校選手権長野大会>
2回戦 松代2-4松川・下伊那農

【陸上】

<北信総体>
男子個人 小林 羚音 円盤投げ 32m92
2位(県大会へ)
高橋 恵太 1500m 4.20.67
7位(県大会へ)
<県総体>
男子個人 小林 羚音 円盤投げ 34m38
3位(北信越大会へ)
高橋 恵太 1500m 4.29.51
<北信越大会>
男子個人 小林 羚音 円盤投げ 24m10

【バレーボール】

<北信総体>
男子 1回戦 松代0-2須坂創成
女子 1回戦 松代0-2中野立志館

【剣道】

<北信総体>
男子団体戦(予選リーグ)
1試合目 松代3-2長野高専
2試合目 松代2-2飯山
3試合目 松代2-2長野
(決勝トーナメント)
1回戦 松代2-2長野西
準決勝 松代0-3長野日大
3位決定戦 松代1-2長野 4位(県大会へ)
男子個人 6位 米澤 登伊(県大会へ)
<県総体>
男子団体戦(予選リーグ)
1試合目 松代0-2松本蟻ヶ崎
2試合目 松代5-0蓼科
3試合目 松代1-1佐久長生
予選リーグ敗退
男子個人 8位 米澤 登伊(北信越大会へ)
<北信越大会>
男子個人 1回戦敗退 米澤 登伊

【卓球】

<北信総体>
男子個人 北島 凱斗 1回戦敗退

【バドミントン】

<北信総体>
女子団体 予選1回戦 松代3-0長野俊英
予選2回戦 松代0-3市立長野

【柔道】

<北信総体>
男子個人 市川 智也 60kg級 8位(県大会へ)
羽生田 瑛斗 73kg級 8位(県大会へ)

<県総体>

男子個人 米澤 慎治・市川 智也 60kg級 初戦敗退
羽生田 瑛斗 73kg級 初戦敗退

【弓道】

<北信総体>
女子団体Aチーム 1回戦 20射1中
Bチーム 1回戦 20射7中
2回戦 20射6中 敗退

【ミュージック】

<長野県高等学校軽音楽系クラブ合同演奏会
Power Live TH東北信大会>
海月男爵 Side1 松高センチピード 計3バンド出場
松高センチピード 4位入賞(県大会へ)
<長野県高等学校軽音楽系クラブ合同演奏会
Power Live K県大会>
松高センチピード 優秀賞(4位)

【商業】

松濤祭 開発商品販売(マーケティング班)

【茶道】

PTA理事会、松濤祭

剣道部

3年1組 米澤 登伊

北信越大会を最後に部活を引退することになりました。最後の大会で結果を残すことができたのも、今まで一緒に戦ってくれた仲間たち、御指導頂いた先生方、先輩方、応援してくださった保護者の方々のお陰です。思い返せば授業が終わったり部活に行き稽古をし、汗を流す、そんな当たり前の毎日が当たり前ではなく、私にとって本当に充実した幸せな日々であったと実感しています。高校入學と同時にレギュラーに入ることに、中学剣道との違いという大きな壁にぶつかりました。乗り越えることができたのは仲間たちのお陰です。今まで本当にありがとうございました。



陸上部

北信越大会出場にあたり

3年3組 小林 羚音

北信越大会は自分が今まで出場してきたどの大会よりもスケールが大きく、今までにない緊張がありました。競技場が大きいこと、他県の選手と競うこと、長野県の代表として大会に出場することも、今まで経験のない事でした。その緊張に私は勝つことができずに結果は悔しいものになってしまいました。記録は満足できるものではありませんが、顧問の先生、仲間たちと一緒に陸上競技ができて心から良かったと思います。私を支えてくれた仲間と顧問の先生には感謝してもきれません。ありがとうございました。

茶道部

部長 3年4組 久保田 佳苗



「時に「美味しかったです。」と言って頂けた時は、今まで稽古や準備を頑張ってきた良かったと心から嬉しく思いました。

開校記念日講演会

5月2日、信州大学名誉教授高木直樹先生の、「地球沸騰化の時代に、君たちはどう生きるか?」と題する講演がありました。印象に残った内容の要約を紹介いたします。▼2015年の国連サミットで、「持続可能な開発目標(SDGs)」17項目を、30年までの15年間に達成することが採択され、その中の1つに、地球温暖化問題があります。▼世界の平均気温は、1850年と2020年を比較した場合、1.09度上昇しました。今後80年間に最悪の場合4.6度上昇すると予測されます。そうした場合、長野県は、九州の佐賀県あたりと同等の気候になります。▼温暖化の主な原因は、二酸化炭素を主成分とする温室効果ガスです。そのガスを減らし、長期的に平均気温の上昇を1.5度以内におさえるのが世界の目標です。▼わが国の削減目標は、13年度比で30年までに46%減、50年までには排出量と吸収量で「ネットゼロ」というものです。義務ではない▼対策としては、科学の発展が期待されますが、当面は、省エネ・化石燃料の削減・再生可能エネルギーの利用・自然環境の保全など、地道な努力を続けなければなりません。



地域トピックス

佐久間象山の銅像と茶室の移設



松代藩士で幕末の思想家である佐久間象山の像は、平成元年(1989)6月に、平和地所(株)社長の中澤袈裟美氏(故人)より、長野市が像の建立(寄付)の陳情を受け、平成2年8月に設置場所が川中島古戦場史跡公園に決まり、11月に像の建立除幕式がなされた。

その後、平成28年(2016)6月、更北地区より「川中島古戦場史跡公園及び博物館活性化」に係わる陳情懇談の中で、象山像の移設の要望があり、寄付者である中澤氏に、史跡公園からの移設と松代地区への設置に同意を頂き、平成30年2月、松代小学校の東門広場への移設が決定した。令和3年(2021)度事業で移設費を予算化し、翌令和4年3月に松代小学校東門広場への移設が完了した。

現在は、生徒の朝夕の登下校を佐久間象山像が見まわり続けている。

佐久間象山を祭る象山神社は、象山生誕地近くに有った茶室「煙雨亭」を、象山神社境内の「高議亭」近くの場所に、曳家工法で今年5月下旬から少しずつ移動させる工事を行い、9月末に完了した。



茶室は、40年前に一度解体されたのだが、この茶室の資材を、京都象山会世話人の高岡健次氏が保管されており、それが長野市に寄贈され、象山神社境内に復元された。しかし、近年まで茶室は、あまり活用されず過ぎてきたが、今回、神社が長野市から譲り受け、移設して有効活用することになった。今後、活用団体を募集して、貸出ししていく予定という。

茶室は、木造平屋建てで、床面積は、12平方メートルである。茶室の使用希望者は、象山神社に申し込みをする。(☎026-278-2461)

お知らせ

同級会の助成金を支給しています。支給条件がありますので、事前に届け出てください。
詳しくはホームページをご覧になるか、同窓会事務局までお問い合わせください。
一人あたり500円(1万円を限度に)支給します。

学校：026-278-2044 事務局：☎026-278-2070
Eメール：matukou-dousoukai@dune.ocn.ne.jp
HP：https://matsudou.com/

令和7年度同窓会総会開催について

令和7年度の同窓会総会は、下記の通り開催いたします。同窓生の皆様の多数ご参加をお待ちしております。

開催日 令和7年6月7日(土)
開催場所・時間 「総会」梅田屋(松代町中町) 午後3時～
「会員交流会」 午後4時30分～

転入・転退職職員(敬称略)

○転退職職員

教科	氏名	新任校等	教科	氏名	新任校等
校長	藤澤 由夏	大町岳陽	英語	中島 智治	退職
教頭	丸山 純一	坂城	商業	池田 剛幸	退職
国語	北澤(半田) 淳子	退職	事務	林 直樹	小諸商業・教頭(定)
	轟 祐輔	須坂創成		松野 淳	須坂創成
	小橋 千景	県新規採用(東御清翔)		大谷 徹	坂城
地公	増田 靖	坂城		小山 修也	退職
理科	町田 直樹	屋代	丸山 信顕	退職	
家庭	宮坂 恵子	更級農業	宮下 洋	長野東	
英語	宮越 好一	県新規採用(篠ノ井)			

○転入職員

教科	氏名	前任校等	教科	氏名	前任校等
校長	向井 健太郎	心の支那・並任講師	英語	坂口 教道	長野西・常講
教頭	阿部 栄智	小諸商業・教頭(定)		田中 悦治	長野工業
国語	武士 寧々	新任	商業	中村 恵美香	松代・常講
地公	油井 翔	松本国際		秋山 幸久	長野商業
数学	牧野内 昇	講師・講師・兼/	事務	小川 伸一	屋代
理科	三村 海斗	市立長野		土屋 克文	更級農業

作品募集

同窓会報に掲載する記事・写真・俳句・短歌・川柳・挿絵等を募集します。
 【応募資格】 本校同窓生。
 【応募作品】 自作で未発表のもの。
 【形式】 記事は400字以内。他は自由律でも可。作品は題名を記す。
 【記載事項】 氏名(ペンネーム)・郵便番号・住所・電話番号・卒業年。
 【留意事項】 随時募集しますが、会報編集に間に合わない場合は、次回に送ります。不掲載・割愛・校正等する場合があります。作品は返却しません。
 【応募方法】 郵送またはEメール。
 〒381-1232 長野市松代町西条4065
 松代高校同窓会事務局
 Eメール
 matukou-dousoukai@dune.ocn.ne.jp

編集後記

気候変動、新種のコロナ発生等、様々な問題を抱える日々ですが、皆様お変わりないでしょうか？
 創立120周年を機に、会員皆様の一層の絆が深まればと祈念する次第です。
 今年は、少し早い発行となりましたが、ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

〈編集委員〉

〈事務局〉

- 松林 正順
浅川 民枝
相澤 敏明
三田 今朝光
牧野 恵美子
岸本 敏子
小林 浩
中澤 涼子